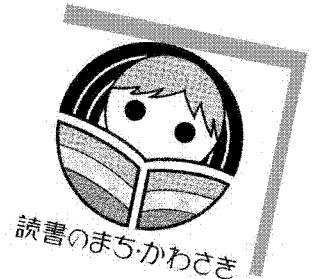


# 読書のまち・かわさき

通信 NO43号

読書のまち・かわさき事業推進委員会 / 川崎市教育委員会 Tel 044-200-3243



## ことは “絵は言葉なのです” さいこう ～「絵本の力」再考～

“絵は言葉なのです”

昨年度の全市学校図書ボランティア研修会講師、松居直先生の言葉です。

言葉が少ない、あるいは言葉が明記されていないように思える詩や絵、写真、絵本などのもつ行間の豊かさ、読み手自身の想像力や思考力を刺激する懐の深さについて、この一言は大きなヒントを与えてくれます。例えば、長新太さんの『ごろごろにゃ～ん』という絵本を思い起こしてみましょ。この絵本は、最初から最後まで「ごろごろにゃ～ん」という言葉ばかり出てきます。小学校低学年の児童に読み聞かせをしたことがあります。絵をよく見ながらお子さんたちがいろいろとつぶやくのです。そのつぶやきをとりあげながら、さらに全員で共有することで、楽しさが倍増していくのです。そんなやりとりをしながらページをめくっていくような「読み聞かせ」も格別な味があるものです。また、このようなつぶやきをいかすような読み聞かせは、ぜひ学級担任の先生が日々行くと、お子さんたちの様々な素顔にふれるチャンスにもなるでしょう。

さて、今年度の全市ボランティア研修会でもやはり絵本のもつ力について、参会した皆さんの心に波紋をおこして下さるような講師の先生の登場です。物語の背景や舞台裏についての貴重なお話にふれることができます。“わにわにシリーズ”でお子さんたちや子ども心を忘れない大人たちの想像力の琴線にふれた、作家の小風さち先生が、溝口の高津市民館に来館します！

### 全市ボランティア研修会

#### 『お話の舞台裏』

～イギリス、韓国、ウクライナ、そして日本～

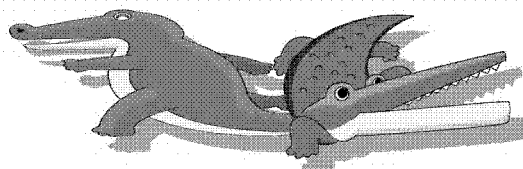
講師 小風さち先生

○2009年9月11日(金)

○10時～(受付9:30) ○高津市民館大ホール

☆事前申し込みなどは特にありません。当日直接会場においてください。

東京都生まれ。1977年から10年間英国に暮らす。絵本に『わにわにのおふる』など、わにわにシリーズ、『とべ!ちいさいプロペラき』『ぶーぶーぶー』『はちみついろのうま』『はしれきかんしゃ ちからあし』など多数。長編童話『ゆひぬき小路の秘密』で94年野間児童文芸新人賞受賞。



夏は、絵本にかかわる企画展が多く開催されます。その中からいくつか紹介いたしましょう。

### ①<堀内誠一 旅と絵本とデザインと>

【7月4日～9月6日 世田谷文学館（10時～18時）】

堀内誠一さんは、たくさんの雑誌の創刊にかかわるなどデザインの分野を中心に多彩な活動をした方です。また、絵本作家としても数々の画の創作に携わりました。『ぐるんぱのようちえん』とえば「ああっ〜」と反応する方もいらっしゃるでしょう。また、光村図書教科書教材にもなった『いっぽんの鉛筆のむこうに』のデザインにもかかわっていました。この本は、一本の鉛筆ができるまで、世界のたくさんの人の力がつながっていることをわかりやすく描いています。街の文房具店に届く場面では、東柿生小学校の傍にあるお店が登場するなど、川崎市民には特に身近に感じられます。企画展の開催期間中は、講演やDVDの上映、絵本の販売なども行われていて、資料収集の面でも大いに役に立つでしょう。

### ②<イタリア・ボローニャ国際絵本原画展>

【7月11日～8月16日】板橋区立美術館

### ③<プラティスラヴァ世界絵本原画展>

【6月27日～8月30日】うらわ美術館

②と③の受賞者、入選者の中に、出久根育さんの名前も見つけました。出久根さんは、梨木香歩さんの絵本『ペンキや』『ワニ』の画を担当しています。原画展を通して、新しい出逢いや意外な発見があるかもしれません。また、絵本に対する眼差しの豊かさにもつながりそうです。



世田谷文学館  
で開催中です

## 北ライオンズクラブ読書活動奨励賞受賞式

去る6月3日、武蔵小杉駅に近い生涯学習プラザに於いて、「北ライオンズクラブ読書活動奨励賞受賞式」が行われました。受賞校は、南百合ヶ丘小学校・東菅小学校・中原中学校の3校です。3校の児童・生徒さんの言葉の中で共通していたのは、「ひとりでも多くの仲間に関書館に足を伸ばしてほしいし、受賞の体験を活かして委員会活動に励みたいです。」という言葉でした。生徒・児童の方々を支援する教職員・保護者の方々の連携プレー、図書室と読書の世界へ誘う（いざなう）工夫、教職員自ら本と向き合う姿勢が、日々結実しているという思いに満たされました。また、主催者である川崎北ライオンズクラブの方々の言葉の中に、「現代は、携帯小説という便利なものもいろいろありますが、いろいろな意味で、本は人の手によってページがめくられることに意味があると思うのです」という一節もあり、心に響く式になりました。

さて、この夏一冊の本と出逢えたあなたにひとつお願いがあります。読書標語ポスター」に取り組んでいただきたいと思います。今年度のしめきりは、9月11日です。学校を通して応募しますので、詳しくは、担任の先生や美術の先生に問い合わせてください。

**テーマ**「自分の読書体験から得た読書の楽しさや感動を表したもの」

**標語**「応募用紙が学校に配られています。字数は20字以内です。」

**ポスター**「四つ切画用紙から八つ切画用紙まで」

「パス類、水彩絵の具など幅広い材料で」

「記入する文字は、読書の楽しさ、出逢いのよさなどに関する言葉」

- ・ 作品の裏側に学校名、学年、氏名を記入します。作品は返却します。
- ・ 委員会で作成したポスターの応募も大歓迎です。

提出先は、教育委員会指導課です。学校に提出して、先生に教育委員会に送ってもらいます。

(電話200-3243)